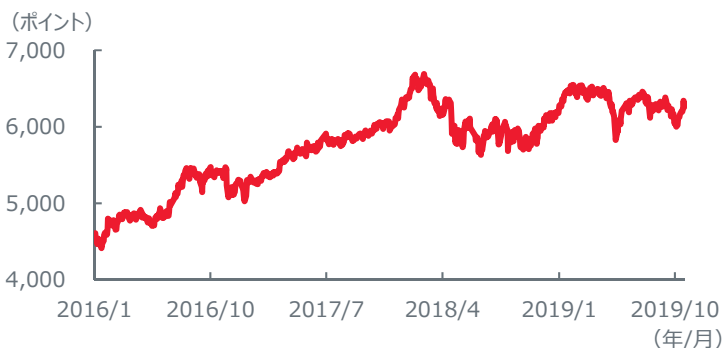


(対象期間：2019/10/21～2019/10/25)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2019年10月25日)

## 【株式市場】

インドネシア株式市場は上昇しました。23日にジョコ大統領二期目の内閣のメンバーが発表されました。新内閣は若手、専門家、政党有力者など調和のとれた内閣となり、注目されていたスリ・ムルヤニ財務大臣が再任となったことで市場では安心感が広がりました。また、24日にインドネシア中央銀行（BI）が4会合連続となる利下げを行ったことも好感されました。セクター別では、農業、金融などが上昇した一方で、鉱業などは下落しました。

2019/10/18	2019/10/25	変化率
6,191.95	6,252.35	+0.98%

【債券市場】インドネシア国債通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2019年10月25日)

## 【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。22日に行われた国債入札は年初来で2番目に多い応募額となり、好調な結果となりました。入札後も債券利回りは低下し、外国人投資家からの資金流入が見られました。24日、BIが利下げを決定した金融政策決定会合後の総裁のコメントは前回とほぼ変わらず、利下げも市場の予想通りであったことから、国内投資家を中心に利益確定売りが見られ、利回りは週末にかけてやや上昇しました。

2019/10/18	2019/10/25	変化幅
7.141	7.085	-0.056

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2019年10月25日)

## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。23日に発表された新内閣の内容や、最大野党の連立与党入りを受けて、ジョコ大統領の政権基盤が強化されたことなどを好感し、債券、株式市場に外国人投資家からの資金流入が見られ、ルピアは堅調となりました。米中の首脳が11月にも貿易交渉の合意署名をするとの期待もリスク選好に繋がりました。BIの利下げ決定による為替市場への影響は限定的でした。

2019/10/18	2019/10/25	変化率
0.7678	0.7742	+0.83%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるブルーデンシャル・アジアランス社とは関係がありません。